Space for your Smile

SKY Perfect JSAT Group

Company Profile

スカパーJSATの成長と変革に挑戦してまいります。

当社は設立以来、宇宙事業・メディア事業を基盤としたサービスを提供する日本で唯一の企業として、お客様に新しい価値を提供し続けてまいりました。今日では、宇宙事業における新たなプレーヤーの登場、メディア事業においてはさまざまなプラットフォームの出現やデバイスの多様化など、両事業を取り巻く環境は急激に変化しております。

そのような環境下、当社は次の10年を戦い抜くため、グループミッション“Space for your Smile”を掲げ、一人ひとりのより良い明日の創造を目指して、未来志向の事業領域の拡大に挑戦してまいります。

新しいスカパーJSATを創造するために、さまざまな変革に挑戦してビジネスモデルを発展させ、お客様やビジネスパートナーをはじめとするステークホルダーと、より強固な信頼関係を築き、企業価値向上を進めていきます。

今後ともスカパーJSATにご期待ください。

代表取締役 執行役員社長　米倉英一

スカパーJSATグループミッション

Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

Space for your Smileには、私たちの目指す世界が描かれています。
宇宙も、空も、海も、陸も、家族が集うリビングも、ひとりの自由な場所も、
これらすべてのSpaceが笑顔で満たされるように。
日常のちょっとした幸せから、まだ見ぬ未来の幸せまで、
ひとりひとりの明日がよりよい日になっていく、そんな世界を創りつづけます。

アジアNo.1の地位を超えて、グローバルプレイヤーを目指します。

JSAT

当社は、20機※の衛星を保有する
アジアで最大の衛星通信事業者です。

お客様に安心・安全をお届けするために、国内では
災害に強い衛星通信回線、BCP（事業継続計画）に適した
サービスを提供しています。

海外ではアジア・大洋州における衛星回線販売や、
世界最大の衛星通信事業者であるインテルサット社との
北米共同事業などのグローバル展開を積極的に進めています。
今後は、移動体ビジネスの領域を拡大させ、宇宙ビジネスの領域にも
積極的に参入し、さらなるグローバルプレイヤーを目指してまいります。

※静止軌道上に19機、低軌道上に1機
（2020年4月1日現在）

衛星が優位な領域でお客様に
安心・安全、そして感動をお届けします。

国内ビジネス領域

災害に強い衛星通信の特長を生かして、全国の自治体や電力・ガスなどの重要なライフラインを担う企業に対して災害対策・BCPに適したサービスを提供しています。また、現場からの映像伝送やコンテンツの全国への一斉配信などさまざまな用途に利用されています。

移動体ビジネス領域

船舶向けインターネットサービス（OceanBB plus）を提供するとともに、航空機向けにも積極的にビジネスを展開しています。さらには、インマルサットグループなどとの共同出資によるJSAT MOBILE Communications(株)を通じて、移動体ビジネスの拡大を図ってまいります。

グローバルビジネス領域

アジア、オセアニア、中近東、ロシアなどへの衛星回線の提供に加えて、インテルサット社との北米・ロシア・アジア太平洋におけるHorizons共同事業を実施しています。新規衛星打ち上げによる国際リソースの拡大、軌道上衛星の効率化及び利活用により、国際サービスのさらなる拡大を目指します。

宇宙ビジネス領域

宇宙基本法に基づき、民活による宇宙利用新分野の衛星運用の取り組みに参加しています。当社の軌道上の衛星資産と衛星運用のノウハウを最大限に生かして、官民連携による各種宇宙利用サービスの拡大を図ってまいります。

衛星通信及び衛星通信技術を利用したサービスを紹介。

衛星回線の提供及び各種サービスを通じ、ビジネスや毎日の生活をより便利に、より豊かにするサポートをしています。

緊急地震速報衛星配信サービス
SafetyBird
セーフティバード

緊急地震速報衛星配信サービス

気象庁が配信する緊急地震速報を当社の通信衛星を経由して全国に向け一斉配信します。地上災害の影響を受けにくい特長を生かした減災・事業継続に有効なサービスです。

ポータブル衛星IP通信サービス
PortaLink
ポータリンク

ポータブル衛星IP通信サービス

小型・軽量の可搬端末を使用して、最大9MbpsのIP映像伝送が可能な専用線サービスです。ハイビジョンの伝送にも対応しています。

衛星マルチキャスト配信サービス
SkyAccess
スカイアクセス

衛星マルチキャスト配信サービス

帯域保証型マルチキャスト配信により、数地点へコンテンツを一斉配信できるサービスです。対災害性に優れ、災害時の情報格差の軽減、情報伝達の迅速化を実現します。

衛星IPネットワークサービス
ExBird
エックスバード

衛星IPネットワークサービス

衛星によるIPネットワークを容易に導入できるサービスです。災害時のネットワーク確保や、遠隔地の監視・制御用ネットワークといったデジタルデバイド解消の通信インフラとして利用できます。

防災プラットフォームサービス
EsBird
エスバード

防災プラットフォームサービス

災害発生時に必ず繋がる専用回線と衛星機器をご提供するワンストップサービス。機器は万全の全国保守網を有する国内メーカー製で、お客様のニーズに合わせた多彩なオプションをご用意する総合防災プラットフォームサービスです。

海洋ブロードバンドサービス

OceanBB plus

オーシャンビービープラス

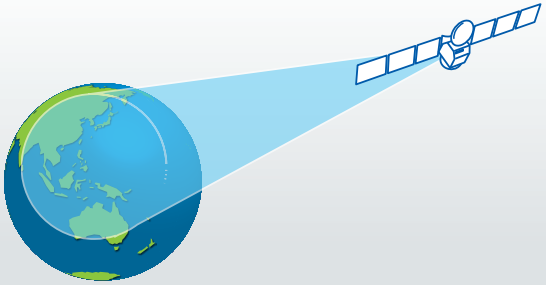
powered by KVH mini-VSAT Broadband

海洋ブロードバンドサービス

ハイ・スループット衛星（HTS：高速大容量通信衛星）を導入した、次世代型の船舶向けインターネット接続サービスです。従来サービスを格段に上回る最大通信速度を実現し、船舶のIoT化に伴う船陸間データ通信の増大をサポートします。お客様のニーズにきめ細かく対応可能な、幅広いサービスプランを展開しています。

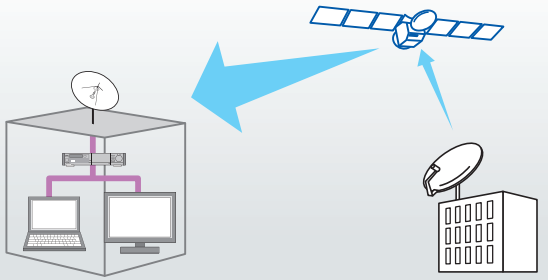
FEATURES | 特長 |

［広域性］



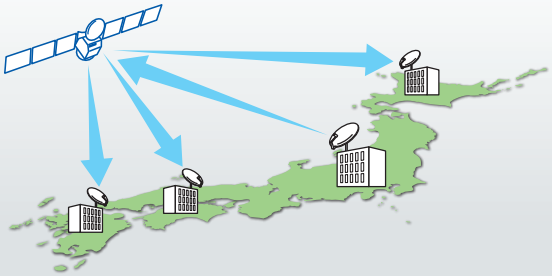
赤道上空約36,000kmの静止軌道上に位置する通信衛星は、1機で地球の約3分の1をカバーすることができます。当社の衛星は、日本のみならずアジア・太平洋地域の広範囲をサービス領域にしています。

［大容量］



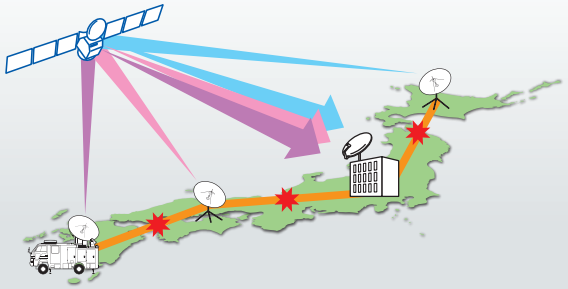
当社の衛星トランスポンダ（電波中継器）は広帯域仕様であり、高品質な映像や多量のデータを送信することができます。

［同報性］



衛星通信なら1回の送信でカバーエリア内の複数地点に対し一斉に同一の情報を送ることができます。全国に広がる支社や拠点網にも速やかに情報を一斉に配信できます。

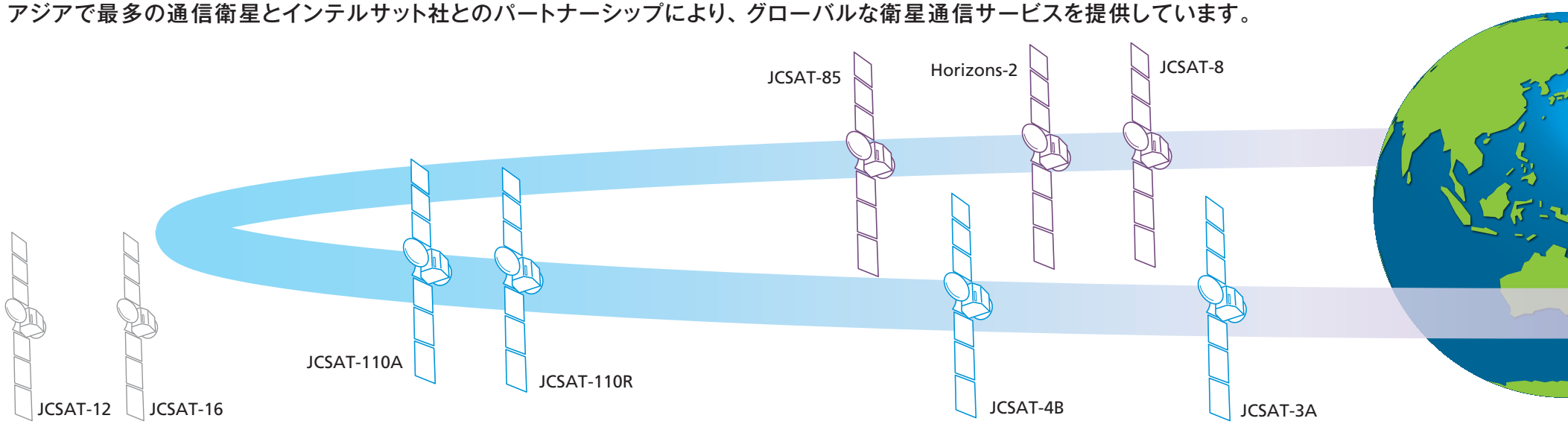
［柔軟性及び耐災害性］



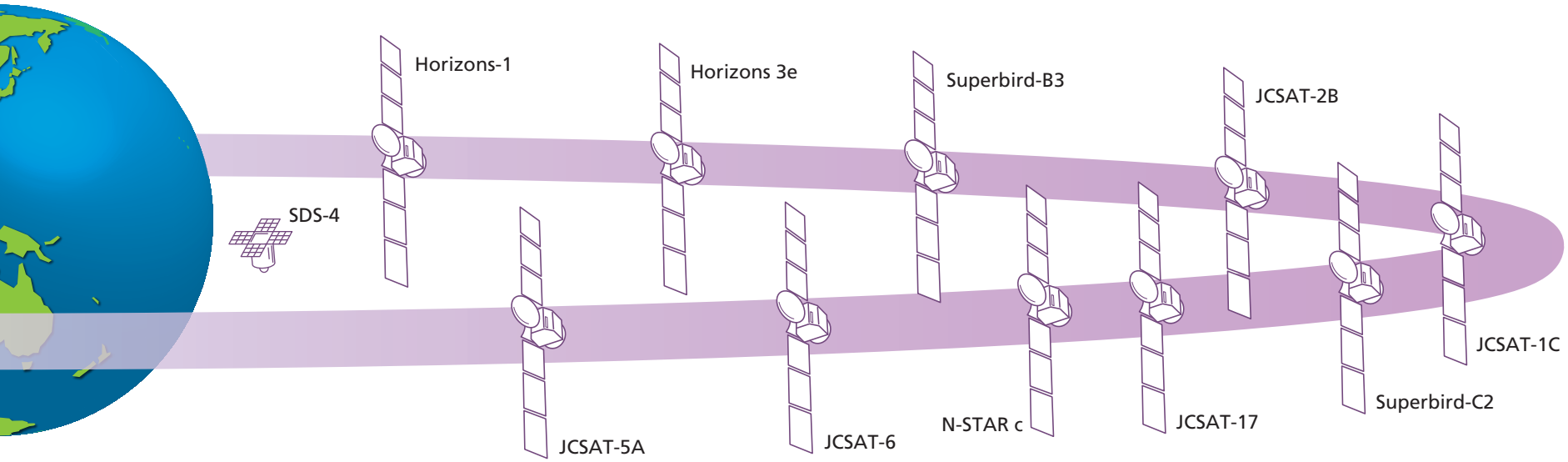
山やビルなどに遮られて地上波の電波が届かない地域や、地震・台風などで地上の通信回線が遮断された場合でも、可搬式の小型・軽量端末を利用し、必要な音声・データを容易に送受信することができます。

お客様のニーズに合った軌道位置・衛星仕様を生かし、事業の拡大を図ります。

アジアで最多の通信衛星とインテルサット社とのパートナーシップにより、グローバルな衛星通信サービスを提供しています。



	主にメディア事業に利用				主に						
	JCSAT-110A	JCSAT-110R	JCSAT-4B	JCSAT-3A	JCSAT-5A	JCSAT-6	N-STAR c	JCSAT-17	Superbird-C2	JCSAT-1C	JCSAT-2B
軌道位置	東経110度	東経110度	東経124度	東経128度	東経132度	東経136度	東経136度	東経136度	東経144度	東経150度	東経154度
打上日（日本時間）	2016/12/22	2011/8/7	2012/5/16	2006/8/12	2006/4/13	1999/2/16	2002/7/6	2020/2/19	2008/8/15	2019/12/17	2016/5/6
打上ロケット	アリアン5	アリアン5	アリアン5	アリアン5	Zenit-3SL	アトラス2AS	アリアン5	アリアン5ECA	アリアン5	ファルコン9	ファルコン9
衛星バス	SSL1300	A2100A	A2100AX	A2100AX	A2100AX	Boeing 601	Star-2	LM2100	DS2000	Boeing702	SSL1300
周波数帯域	Ku band	Ku band	Ku band	Ku band C band	Ku band C band S band	Ku band	S band C band	S band C band Ku band	Ku band	Ku band Ka band	Ku band C band
主なカバーエリア	 ○Ku band Japan beam ●Ku band South IOR beam	 ○Ku band Japan beam	 ○Ku band Japan beam ●Ku band Southeast Asia beam ●Ku band steerable beam	 ○Ku band Japan beam ○C band	 ○Ku band Japan beam ○C band				 ○Ku band Japan beam ●Ku band Northeast Asia beam ●Ku band Southeast Asia beam ●Ku band steerable beam	 ●Ku band NEA beam ●Ku band SEA beam ○Ku band spot beam	 ○Ku band Asia ●Ku band Japan ●Ku band Pacific ●C band South ●C band North ○C band global



宇宙事業に利用							
Superbird-B3	Horizons 3e	Horizons-1	Horizons-2	JCSAT-85	JCSAT-8	JCSAT-12	JCSAT-16
東経162度	東経169度	西経127度	東経85度	東経85度	–	–	–
2018/4/6	2018/9/26	2003/10/1	2007/12/22	2009/12/1	2002/3/29	2009/8/22	2016/8/14
アリアン5	アリアン5	Zenit-3SL	アリアン5	Zenit-3SLB	アリアン4	アリアン5	ファルコン9
DS2000	Boeing 702MP[HTS]	Boeing 601HP	Star-2	STAR-2	Boeing 601	A2100AX	SSL1300
Ku band Ka band	Ku band C band	Ku band	Ku band	Ku band	Ku band C band	Ku band C band	Ku band Ka band
○Ku-band Japan beam ●Ku-band steerable beam	○Ku band spot beam ○C-band GW & Spot	●Ku band	●Ku band Russia beam	●Ku band East IOR beam ●Ku band West IOR beam			

衛星管制センター

衛星を地上からコントロールし、メディア事業、宇宙事業の両軸を支えています。

衛星管制センターでは、衛星の状態や軌道位置などの監視・制御といった運用に加え、衛星回線の状態や品質を監視する回線運用業務、さらに衛星を用いた通信サービスの提供を行っています。横浜衛星管制センターでは、主に日本をカバーしている衛星をコントロールしています。また、この衛星管制センターが被災したり機器の故障が起きたりしても運用が継続できるよう、茨城と山口に副局を設けています。

（2020年4月1日現在）

スカパー！の4つのサービス

スカパー！には「スカパー！」「プレミアムサービス」「プレミアムサービス光」「スカパー！オンデマンド」の4つのサービスがあります。

今すぐ
スカパー！サービス
を楽しむなら

スカパー！
サービス

必要な機器

テレビやレコーダー

110度CS対応
BSアンテナまたは
4K・8K対応スカパー！
マルチアンテナ

チャンネル数

80
チャンネル

ハイビジョン 58チャンネル
標準画質 13チャンネル
4K 9チャンネル

チャンネル数にも
画質にも
こだわるなら

スカパー！
プレミアムサービス

必要な機器

テレビ

4K放送対応プレミアムサービスチューナー内蔵テレビであれば、プレミアムサービス対応チューナーなしでお楽しみいただけます。

プレミアムサービス
対応チューナー

4K·8K対応
スカパー！
マルチアンテナ

チャンネル数

144
チャンネル

ハイビジョン 143チャンネル
4K 1チャンネル

デジタルラジオ　100チャンネル

アンテナ不要で
スッキリ！

スカパー!
プレミアムサービス 光

必要な機器

テレビ

＋

プレミアムサービス光
対応チューナー

※フレッツ・テレビなどでご利用いただけます。

チャンネル数

142

チャンネル

ハイビジョン 141チャンネル
4K 1チャンネル

デジタルラジオ　100チャンネル

スカパー! ondemand

スカパー！の番組を
いつでも、どこでも

- スマホ
- PC
- タブレット

チャンネル数

91

チャンネル

登録件数：約170万件

（チャンネル数は2020年4月1日現在。ただしスカパー! on demandの登録件数は2020年2月末現在）

スカパー！は、スカパー！でしか見られない魅力的なコンテンツを放送サービスはもちろん、お客様のライフスタイルに合わせてお楽しみいただくためさまざまな取り組みをしています。

スカパー！独自のコンテンツをお届け

スカパー！ご契約者が無料で観られる「BSスカパー！」は、オリジナルドラマ、アニメ、時代劇をはじめ、音楽番組、バラエティなど、他では観られないコンテンツを数多く放送しています。
また、国内サッカーはJリーグYBCルヴァンカップや天皇杯、海外サッカーは「日本人選手の応援」をテーマに、多くの日本人選手が活躍するドイツ ブンデスリーガ、ベルギーリーグなどを放送します。

ドラマ『I"s<アイズ>』©桂正和／集英社・スカパー！2018

BUNDESLIGA

2019 J.LEAGUE YBC Levain CUP

家中で楽しめるスカパー！基本プランが登場！

2018年10月に販売開始した「スカパー！基本プラン」は、販売開始後約半年の2019年3月末時点で契約数が30万件を突破しました。11ジャンル50チャンネル見放題の基本プランは、2台目、3台目まで追加料金がかからないため、大変ご好評いただいています。
家族揃って、あるいは別々のテレビで。
さまざまなシチュエーションでスカパー！をお楽しみいただけます。

スカパー！基本プラン

2019年夏以降 光回線を利用した新4K8K衛星放送全チャンネルの視聴を実現！

2018年12月より開始された新4K8K衛星放送の全チャンネル（NHK BS8Kを含む）の視聴が、今夏以降、光回線経由で可能となります。本サービスは専用アダプターの設置により、宅内設備を改修することなく、きめ細やかで臨場感のある映像表現が可能な新4K8K衛星放送をお手軽にお楽しみいただけます。

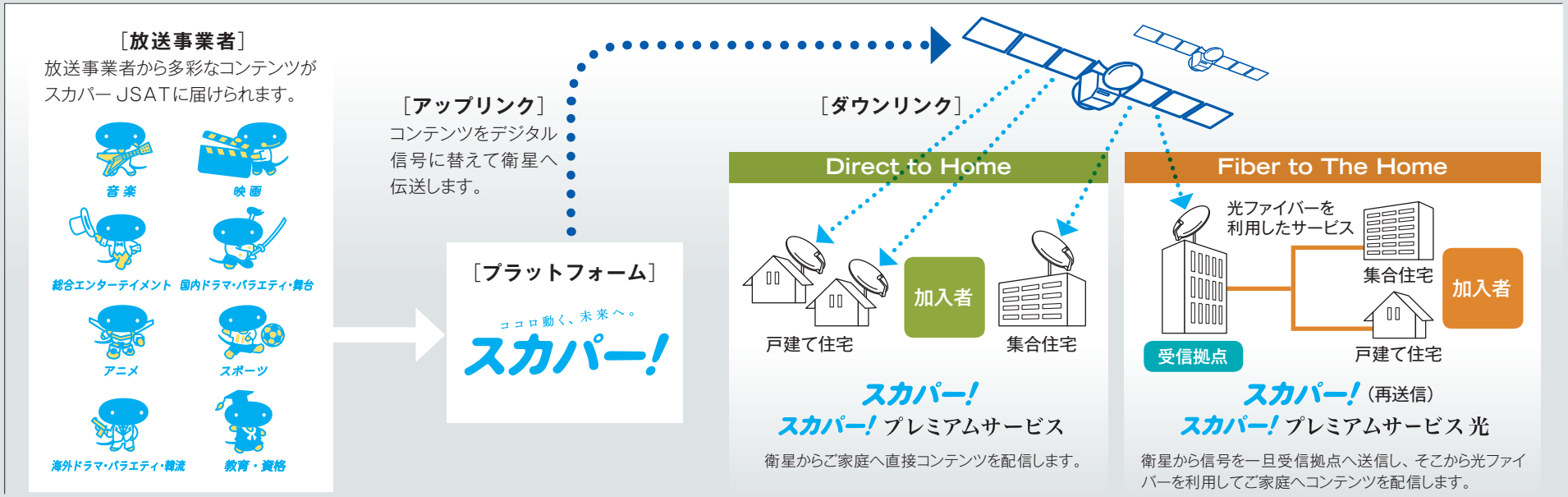
配線イメージ

プロ野球セ・パ12球団公式戦 全試合生中継

2019年の「スカパー！プロ野球セット」は、史上初めてテレビ放送とインターネット配信いずれにおいてもセ・パ12球団公式戦全試合生中継を実現しました。テレビはもちろんスマートフォンでもプロ野球をご覧になれます。
また「スカパー！プロ野球セットアプリ」は、当日の試合スケジュールからライブ配信がワンタップで視聴可能で、その他、選手名鑑や注目選手予報など多彩な機能でプロ野球を存分にお楽しみいただけます。

スカパー！プロ野球セット

BUSINESS FRAMEWORK | ビジネスフレーム |



スカパー！カスタマーセンター

お客様の快適なスカパー！ライフをサポートします。

スカパー！のお客様とのコミュニケーションを担うスカパー！カスタマーセンター。その役割は、新規加入のお申込み受付、契約の変更、番組に関するさまざまなご質問・ご要望対応など、多岐にわたります。運営する株式会社スカパー・カスタマーリレーションズは、快適でスマートなコミュニケーションをお客様に提供することを目指して、人による高い接客力と、AIなど先端テクノロジーの融合による「スマートコンタクトセンター」の構築を進めています。

スカパー東京メディアセンター

スカパー！サービスの信頼性と品質を追求しています。

スカパー東京メディアセンターでは、放送事業者から送られてくる番組や、センター内でプレイアウト（送出）した番組にデジタル符号化多重化を行い、衛星に向けてアップリンク（送信）しています。また3つのスタジオと編集設備などによる番組制作機能も有しています。その他、スカパー！オンデマンドサービスの送出や、番組の衛星中継、設備開発、放送運行など、センターの役割はさまざま。また、センターは、大規模災害に耐えうるよう強固に設計されており、安定した品質でお客様に放送を提供し続けることを使命としています。

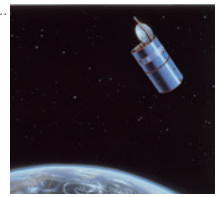
HISTORY | 沿革と成り立ち

1985
- **日本通信衛星企画（株）**設立（同年4月に日本通信衛星（株）に社名変更）
- **宇宙通信（株）**設立
- **（株）サテライトジャパン**設立
- 第一種電気通信事業許可取得

1987
- 横浜衛星管制センター及び群馬衛星管制所を竣工

1988
- スーパーバード茨城ネットワーク管制センター及びスーパーバード山口ネットワーク管制センターを竣工

1989
- 日本初の民間通信衛星「JCSAT-1」打ち上げ、衛星通信サービスを開始
- 「Superbird-旧A」打ち上げ、衛星通信サービス開始



1990
- 「JCSAT-2」打ち上げ

1991
- 第一種電気通信事業許可取得

1992
- 「Superbird-B」打ち上げ
- 日本初の受託衛星放送サービス（CSアナログ放送）開始
- 受託衛星放送サービス開始　「Superbird-A」打ち上げ

1993
- 日本通信衛星（株）と（株）サテライトジャパンが合併し、**（株）日本サテライトシステムズ**が誕生

1994
- 日本初のCSデジタル放送会社、**（株）ディーエムシー企画**を設立

1995
- 国際電気通信事業の免許を取得、サービス開始
- 国際電気通信事業の免許を取得、サービス開始
- 日本初のデジタル放送用衛星「JCSAT-3」打ち上げ
- （株）ディーエムシー（旧（株）ディーエムシー企画）の社名を**日本デジタル放送サービス（株）**に変更

1996
- **（株）ペイ・パー・ビュー・ジャパン**設立（現SPBC）
- 日本初のCSデジタル放送「パーフェクTV!」本放送開始
- **ジェイ・スカイ・ビー（株）**設立

1997
- 「パーフェクTV!」有料放送を開始
- 「JCSAT-4」打ち上げ　「Superbird-C」打ち上げ　「JCSAT-1B」打ち上げ

1998
- 日本デジタル放送サービス（株）とジェイ・スカイ・ビー（株）が合併し、日本デジタル放送サービス（株）が存続会社となる
- サービス名称を「スカイパーフェクTV!」（現「スカパー!」）とする

1999
- 「JCSAT-4A」打ち上げ
- イタリア・プロサッカーリーグ「セリエA」の放送権獲得
- 顧客管理業務のための企画会社**エスエヌ企画（株）**を設立（現SPCC）

2000
- 「Superbird-B2」打ち上げ
- 「ディレクTV」の加入者を、「スカイパーフェクTV!」が引き受ける
- （株）日本サテライトシステムズが**JSAT（株）**に社名変更
- 日本デジタル放送サービス（株）が**（株）スカイパーフェクト・コミュニケーションズ**に社名変更
- 東京証券取引所第一部に上場
- （株）スカイパーフェクト・コミュニケーションズ及びJSAT（株）の出資により、**マルチチャンネルエンターテイメント（株）**設立（現SPET）

- 東京証券取引所マザーズに上場
- 宇宙通信（株）とJSAT（株）の共同衛星「N-SAT-110」打ち上げ

2001
- 米国に**JSAT International Inc.**を設立
- 米国パンアムサット社（現インテルサット社）との共同出資による、Horizons Satellite LLCを設立
- **（株）衛星ネットワーク**の株式取得

2002
- 「JCSAT-2A」打ち上げ
- 「2002 FIFAワールドカップ韓国・日本™」全試合生中継
- 110度CSデジタル放送サービス「スカイパーフェクTV!2」（現「スカパー!」）本放送開始
- 香港事務所設立

2003
- 光ファイバー利用の映像配信事業を行う（株）オプティキャストを設立
- 米パンアムサット社（現インテルサット社）との共同保有衛星「Horizons-1」打ち上げ北米上空での衛星サービス提供開始

2004
- （株）オプティキャストが「スカパー!対応光ファイバーTV OPCAS」（現「スカパー!プレミアムサービス光」）サービス開始
- 東京証券取引所第一部に変更上場
- 110度CSデジタル放送プラットフォーム事業を運営する（株）プラット・ワンを吸収合併
- サービス名称を「スカイパーフェクTV!2」から、「スカイパーフェクTV!110」に変更

2005
- 海洋ブロードバンドサービス「MegawaveMarine」の提供開始
- （株）オプティキャストと東日本電信電話（株）及び西日本電信電話（株）の共同出資による（株）オプティキャスト・マーケティング設立

2006
- ●海洋ブロードバンドサービスの提供開始　●「JCSAT-5A」打ち上げ
- ●「2006 FIFAワールドカップドイツ」の全64試合を放送　●「JCSAT-3A」打ち上げ
- ●Jリーグ（J1／J2）2007～2011までの日本国内放送権獲得
- ●防災情報衛星配信サービス「緊急地震速報（現「SafetyBird」）」の提供開始
- ●防災プラットフォームサービス「EsBird」提供開始
- ●東経124／128度サービスにおける電気通信役務利用放送事業者への登録完了

2007
- ●「スカパー!110」の名称を「e2 byスカパー!」に変更
- ●●（株）スカイパーフェクト・コミュニケーションズとJSAT（株）が持株会社**スカパーJSAT（株）**を設立
  株式移転による経営統合 東京証券取引所第一部上場
- ●新衛星マルチキャスト配信サービス「Sky-Access IPcast」（現「SkyAccess」）の提供開始
- ●スカパーJSATグループの拠点を新社屋に移転統合
- ●米国インテルサット社との共同衛星「Horizons-2」打ち上げ

2008
- ●株式取得により宇宙通信（株）を子会社化
- ●ポータブルIP通信サービス「Portalink」の提供開始
- ●持株会社の社名を**（株）スカパーJSATホールディングス**に変更
- ●東日本における「スカパー!光ホームタイプワイド」及び「フレッツテレビ」の提供開始
- ●**JSAT MOBILE Communications（株）**設立
- ●日本初の国産商用衛星「Superbird-C2」打ち上げ
- ●スカパー東京メディアセンター竣工
- ●●●（株）スカイパーフェクト・コミュニケーションズとJSAT（株）と宇宙通信（株）が合併し、
  スカパーJSAT（株）が発足
- ●「スカパー!HD」サービス開始
- ●「スカイパーフェクTV!」のサービス総称を「スカパー!」に変更
- ●西日本における「スカパー!光ホームタイプワイド」及び「フレッツテレビ」の提供開始

2009
- ●「スカパー!光ホームタイプワイド」にて「スカパー!e2」の再送信サービスを開始
  「スカパー!」3サービスの主体はスカパーJSAT（株）となり、
  それに伴い（株）オプティキャスト・マーケティングを（株）オプティキャストに吸収合併
- ●「JCSAT-RA」打ち上げ　●「JCSAT-85」（インテルサット社と区分所有）打ち上げ

2010
- ●株式譲渡により（株）データネットワークセンターを完全子会社化
  10月には社名を**（株）スカパー・カスタマーリレーションズ（SPCC）**に変更
- ●世界の主要海域をカバーする民間商船向け海洋ブロードバンドサービス「OceanBB」の提供開始
- ●衛星IPネットワークサービス「ExBird」の提供開始
- ●「スカパー!光」サービスで「スカパー!HD」のハイビジョン放送を開始
- ●「2010 FIFAワールドカップ 南アフリカ」の全64試合を「スカパー!」でハイビジョン生中継、
  うち2試合の生中継を含む25試合を「スカパー!HD」「スカパー!光」で3D放送

2011
- ●BS／CSハイブリッド衛星「BSAT-3c／JCSAT-110R」打ち上げ
- ●マルチデバイス向け放送連動型ビデオ・オン・デマンドサービス
  「スカパー!オンデマンド」サービスの提供を開始
- ●「スカパー!e2」で新BSデジタル放送の提供を開始
- ●新BSデジタル放送「BSスカパー!」開局

2012
- ●新拠点として沖縄カスタマーセンターを開設　●インドネシア・ジャカルタに駐在事務所を開設
- ●「JCSAT-4B」打ち上げ
- ●有料多チャンネル放送サービスの名称を「スカパー!」に一元化
  新生「スカパー!」として発進
- ●衛星を使用したJリーグ生中継の4K映像伝送実験に成功
- ●航空機内インターネット接続サービスに「Superbird-C2」の回線を提供

2013
- ●「ExBirdサービス」“BCP向け新プラン”の提供開始
- ●「スカパー! プレミアムサービス光」のH.264／AVC映像圧縮方式への移行が完了

2014
- ●現地語による24時間放送チャンネル
  『WAKUWAKU JAPAN』インドネシアで開局
- ●「ソチ2014パラリンピック冬季競技大会」でパラリンピック専門チャンネルを開局
- ●航空機向けインマルサット衛星通信サービス「Swift Broadband」（スイフトブロードバンド）を提供開始
- ●（株）オプティキャストを吸収合併
- ●「スカパー! プレミアムサービス」のH.264／AVC映像圧縮方式への移行が完了

2015
- ●「スカパー! プレミアムサービス」において4K放送サービスの提供開始
- ●「フレッツ・テレビ」及び「スカパー! プレミアムサービス光」による
  4K放送サービスの提供開始
- ●通信衛星JCSAT-3Aを経由し、4K HDR映像の伝送を実施
- ●インテルサット社と「Horizons 3e」を共同で調達することを決定

2016
- ●ANA国内線Wi-Fiサービス開始に伴い
  「スカパー! プレミアムサービス」の3チャンネルを提供開始
- ●「JCSAT-17」の調達契約を締結
- ●（株）NTTドコモによる「スカパー!」の申し込み受付開始
- ●「スカパー! 4K 体験」開局、
  「スカパー! 4K 映画」「スカパー! 4K 総合」は24時間編成となる
- ●「JCSAT-2B」打ち上げ
  「JCSAT-5A」帯域利用による、JALの全国内線へのWi-Fiサービス開始

●(株)エンルートがグループ会社に加わり、ドローン事業に参入
●ソフトバンクによるスカパー!の申し込み受付開始
●「JCSAT-16」打ち上げ
●Planet社の地球観測衛星画像販売サービスを開始
●「スカパー!4K 体験」にて、4K HDR放送を開始
●スカパー!オンデマンド新アプリリリース
●KSAT社と戦略的業務提携、低軌道衛星向け地上局サービス業務開始
●「JCSAT-15」打ち上げ

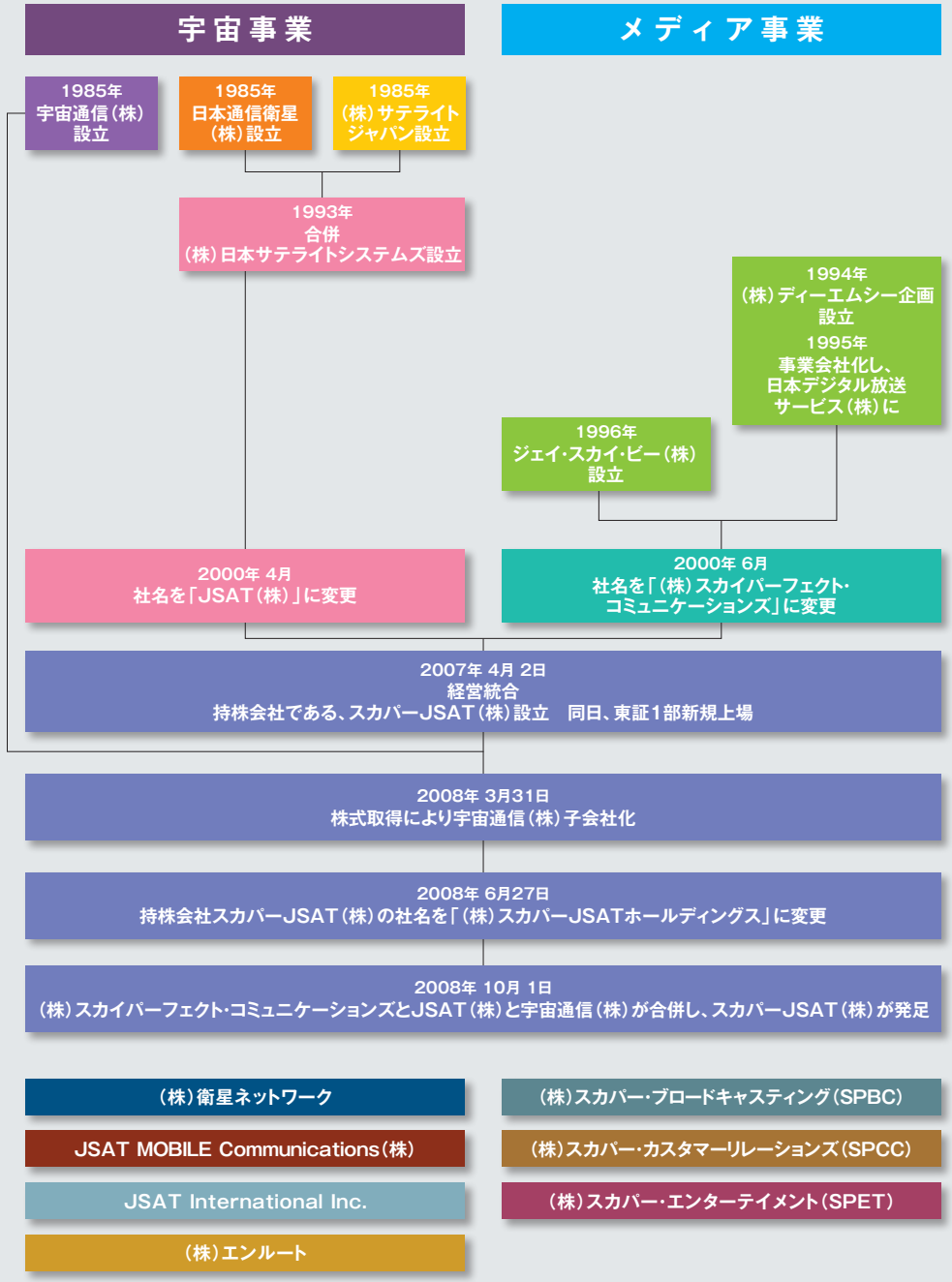
2017
●4K HDR中継車「SR-1」を導入
●「JCSAT-18」の調達契約を締結、ハイ・スループット衛星事業へ本格参入
●Kymeta社と戦略的業務提携、車両等を含む新しい衛星通信分野の開拓
●LeoSat Enterprises社と戦略的パートナーシップ、出資、低軌道衛星事業立ち上げの合意

●宇宙ビジネスアイデアコンテストS-Booster参加
●JAXAより光データ中継衛星のバス運用に係る業務を受注
●(株)エンルートを完全子会社化
●Kymeta社との共同実験、アジアで初めて平面アンテナによる移動体向け衛星通信に成功
●Orbital Insight社の衛星画像解析ソリューション代理店契約の締結
●「スカパー!ハイブリッド」開始
●KVH社へ出資、次世代型の船舶向けインターネット接続サービス「OceanBB plus」提供開始

2018
●「Superbird-B3」打ち上げ
●米国宇宙ベンチャーHawkEye360社と販売代理店契約を締結
●遠隔操船技術の実証事業に参加
●ロシア最大の通信事業者Rostelecom社とロシア極東地域のデジタルデバイド解消のための協業に関する覚書を提出
●「Horizons 3e」打ち上げ

2019
●JAXAが所有・運用する小型実証衛星4型(SDS-4)の譲渡契約締結
●8K技術を用いた32:9ワイド映像による次世代型ライブビューイングで「B.LEAGUE」の中継に成功
●国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)からの受託事業である衛星通信を利用した衛星ドローンの飛行実験の実施・成功
●光データ中継事業の共同展開に向けてエアバス社と覚書を締結
●宇宙開発ロボットスタートアップGITAI社と業務提携検討に関する覚書締結
●チャレナジー社への出資
●(株)バスコとの宇宙事業における業務提携
●「JCSAT-18」打ち上げ

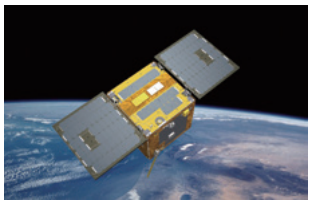
2020
●「JCSAT-17」打ち上げ



スカパーJSATグループの最近の事業ハイライト

低軌道衛星ビジネスのさらなる展開

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）が開発・所有・運用していた小型実証衛星4型（SDS-4）の譲渡契約を締結し、低軌道衛星を初めて保有することとなりました。当社は低軌道衛星向け地上局サービスを積極展開しており、低軌道衛星から届く大容量データを迅速にお客様にお届けし、利活用いただけるよう、北海道、茨城、沖縄に低軌道衛星専用の管制センターを保有し、また国内外の地上局サービス事業者とも業務提携するなど、ネットワーク基盤を充実させています。



©JAXA

有人自律運航船の実用化に向けた日本で初めての実証事業に参加

国土交通省が実施する2018年度における「操船支援機能と遠隔からの操船等を活用した船舶の実証事業」に、海運会社・造船所、舶用機器メーカー他とともに実施者として選定されました。本実証事業は、2025年までの自動運航船の実用化に向けた実証事業です。

進むIoT化に衛星通信網が活躍

京セラコミュニケーションシステム（株）がオペレーションを手掛けるIoTネットワーク「Sigfox（シグフォックス）」基地局のバックホール回線として、当社の衛星回線の利用が可能であることが実証されました。これにより携帯電話網や有線インターネット回線が整備されていない島嶼（とうしょ）部や山間部などの地域においてもIoT基地局の配置が可能となります。さらには、IoTプラットフォームであるソニーセミコンダクタソリューションズ（株）とも同様に相互接続が確認され、今後も当社の衛星通信網を使ったIoT化が期待されます。

船舶IoTに関わるAI研究開発から生まれたスマホアプリ『くもろぐ』

当社が開発した雲識別AI：KMOMY（くもみ）が写真から雲の形や状態を教えてくれるアプリ『くもろぐ』。衛星通信を介して船舶に義務づけられた気象観測データの気象庁への報告自動化を目指す研究開発から派生して生まれました。世界気象機関が定める国際基準の雲観測が簡単にできる『くもろぐ』で、気象・防災について楽しく学べます。各種アプリストアで無料公開しています。

Download on the App Store　GET IT ON Google Play

再生可能エネルギー事業に参画

2019年3月、当社は、（株）チャレナジーが行う第三者割当増資を引き受ける出資契約を締結しました。台風のような強風下でも発電できる垂直軸型マグナス式風力発電機を開発した同社と約1年間の共同実証実験を行い、将来的には離島・山間部など、世界に多く存在する電化の遅れたデバイドエリアに、クリーンな安定電源と高速なインターネット通信を同時に整備することが可能になる見通しが得られました。
当社は（株）チャレナジーとともに、再生可能エネルギーと通信インフラの提供を通じて、世界のあらゆる地域・人々への「不便が快適にかわる生活」の提供に向けた取り組みを進めていきます。

衛星量子鍵配送の実現

当社は、総務省公募案件「衛星通信における量子暗号技術の研究開発」について国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）等と共同で提案を行い、採択されました。IoT時代が近く到来することが予見される昨今、社会における情報通信が果たすべき役割はこれまで以上に重要となるため、情報セキュリティレベルのさらなる向上が求められます。当社はNICT等と協力し、小型衛星や航空機などによる量子鍵配送システムを開発し、計算技術が進展しても盗聴解読やデータ改ざんの脅威に対抗しうる安全性を備えた情報通信網の構築に貢献していきます。

情報銀行プラットフォームの実証実験を開始

スカパー！契約者のパーソナルデータ流通・活用による情報銀行プラットフォームの実現を目指し、（株）DataSign、（株）サイバー・コミュニケーションズ、（株）インテージとの共同研究・実証実験を2019年7月より開始します。この共同研究・実証実験は、（株）インテージが保有するモニターのうちスカパー！契約者を対象としたモニター参加形式で実施されます。データ登録・開示に任意で同意いただいたモニターの方を対象に、開示データに基づき個別推奨されるスカパー！の番組情報やデータ活用企業からの関連商品・サービス情報を提供し、また、スカパー！視聴料としても還元します。ご利用いただけるサービスの拡大によるお客様の満足度向上を目指すと同時に事業性の検証を行い、事業領域の拡充に努めます。

持株会社

- 会社名　株式会社スカパー JSATホールディングス
- 住所　〒107-0052
  東京都港区赤坂一丁目8番1号
- 電話番号　03-5571-1500(代表)
- 設立　2007年4月2日
- 資本金　10,000百万円
- https://www.skyperfectjsat.space/

役員：

代表取締役会長	高田　真治
代表取締役社長	米倉　英一
取締役	仁藤　雅夫
取締役	福岡　徹
取締役	大松澤　清博
取締役	小川　正人
取締役(非常勤)	中谷　巖
取締役(非常勤)	飯島　一暢
取締役(非常勤)	小杉　善信
取締役(非常勤)	藤原　洋
取締役(非常勤)	大賀　公子
監査役	西村　至
監査役	小川　晃
監査役(非常勤)	國分　幹雄
監査役(非常勤)	高橋　勉

事業会社

スカパー JSAT株式会社

住所：〒107-0052
東京都港区赤坂一丁目8番1号
電話番号：03-5571-7800(代表)
設立：1994年11月10日
資本金：50,083百万円
事業内容：宇宙事業及びメディア事業
https://www.skyperfectjsat.space/

拠点：

- スカパー東京メディアセンター　東京都江東区
- 横浜衛星管制センター　神奈川県横浜市
- 茨城ネットワーク管制センター　茨城県常陸大宮市
- 山口ネットワーク管制センター　山口県山口市
- 北海道ネットワーク管制センター　北海道千歳市
- 香港支店
- ジャカルタ駐在事務所

役員：

代表取締役 執行役員会長	高田　真治	特命執行役員	川西　将文	執行役員	小松　大実
代表取締役 執行役員社長	米倉　英一	執行役員常務	古屋　金哉	執行役員	美谷　衛
取締役 執行役員副社長	仁藤　雅夫	執行役員	赤尾　充敏	執行役員	谷口　浩司
取締役 執行役員副社長	福岡　徹	執行役員	青木　一彦	執行役員	石井　満
取締役 執行役員専務	大松澤　清博	執行役員	手塚　久	執行役員	森合　裕
取締役 執行役員専務	小川　正人	執行役員	松谷　浩一	執行役員	奥永　孝仁
		執行役員	飯田　周一	監査役	西村　至
		執行役員	笹沼　満	監査役	小川　晃

グループ会社

株式会社衛星ネットワーク

資本金：1,600百万円
事業内容：ネットワークサービス、
システムインテグレーション
議決権の所有割合：92.0%
https://www.snet.co.jp/

[概要]

- 24時間体制のオペレーションセンター2ヶ所(東京、群馬)と衛星中継車2台を所有し、海外衛星向けテレポートサービス、各種イベント中継、企業向けIPネットワークソリューション等を提供
- 官公庁や企業向け産業用ドローン、地球観測衛星画像データの提供
- 一般建設業(電気通信工事)の許可を有し、システムインテグレーションから工事・保守、ネットワークの運用監視までワンストップで提供

株式会社エンルート

資本金：946百万円
(資本準備金含む)
事業内容：産業用無人機設計、
製造、販売
議決権の所有割合：100.0%
https://enroute.co.jp/

[概要]

- ドローンの企画設計開発から製造・販売・保守・操縦士養成までを一貫したサービスとして提供

グループ会社

株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

資本金：100百万円
事業内容：有料多チャンネル放送等のカスタマーセンター運営
議決権の所有割合：100.0%
https://www.spcc-sp.com/

［概要］
- お客様からの各種お問い合わせ、加入・解約手続きの対応を行うインバウンドコール業務
- 加入促進などのアウトバウンドコール業務、メール対応
- 申込書、コール、web受付の事務処理業務

株式会社スカパー・ブロードキャスティング

資本金：2,500百万円
事業内容：コンテンツ制作事業、番組供給事業
議決権の所有割合：100.0%
https://www.sptvbroadcast.com/

［概要］
- 番組制作・制作技術業務
- デジタルコンテンツの制作
- 通信衛星を利用した放送サービス及び番組供給事業
- 広告代理業務

株式会社スカパー・エンターテイメント

資本金：10百万円
事業内容：衛星基幹放送業務、衛星一般放送業務
議決権の所有割合：100.0%
https://www.skyperfectv.co.jp/spet/

［概要］
- 東経110度衛星放送「スカパー！」の衛星基幹放送業務（BSスカパー！等）
- 東経124/128度衛星放送「スカパー！プレミアムサービス」の衛星一般放送業務

JSAT MOBILE Communications 株式会社

資本金：200百万円
（資本準備金:175百万円）
事業内容：移動体衛星通信サービス業
議決権の所有割合：53.3%
https://www.jsatmobile.com/

［概要］
- 日本･アジア地域での衛星移動通信サービスの需要拡大に応えるため、ストラトス社（現インマルサット社）、日本無線（株）、古野電気（株）とのジョイントベンチャーとして事業開始
- インマルサット衛星によるグローバル衛星移動通信サービスを提供（海上・陸上・航空）

JSAT International Inc.

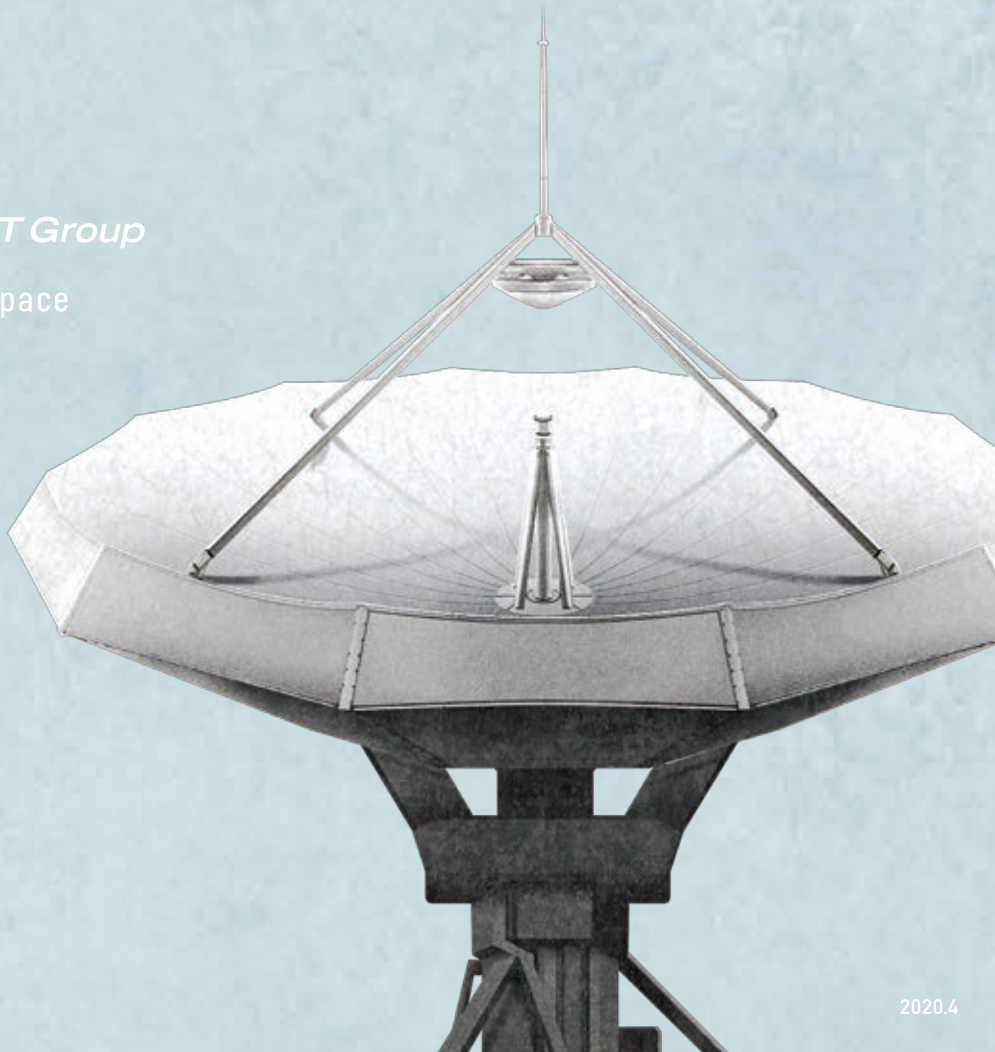
資本金：25百万USドル
事業内容：北米・ロシア・アジア太平洋向け衛星回線販売事業
議決権の所有割合：100.0%
https://www.jsati.com/

［概要］
- スカパーJSAT（株）の米国子会社
- インテルサット社と共同保有するHorizons-1、Horizons-2及びHorizons 3eを利用した衛星通信サービスの提供
- スカパーJSATグループが保有する衛星の回線を、主として北米のお客様に販売するための営業活動
- インテルサット社との共同事業であるHorizons関連各社の管理・運営業務

（注）議決権の所有割合は持株会社である（株）スカパーJSATホールディングスの直接または間接所有割合です。

SKY Perfect JSAT Group

www.skyperfectjsat.space



2020.4